

## 宮崎市の魅力を動画で発信します

2月7日、青島の「鬼の洗濯板」で市民エキストラ1000人にご協力いただき、PR動画を撮影しました。動画の内容は、心にストレスや不安を抱える鬼たちが、鬼のパンツを洗い「宮崎で心を洗濯」するというもの。4月の東九州自動車道の全線開通に合わせ、市の認知度を高めるための企画で、県外の映画館などでCMとして放映しました。インターネットでも公開しています。

YouTube  
宮崎市公式チャンネル▶



## 複合型津波避難施設が完成しました

2月5日、KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園西側に位置する木花地区(島山)に、鉄筋コンクリート造3階建て400人収容の津波避難施設が完成しました。避難階段は段差が低く、子どもから高齢者まで上りやすいよう工夫されています。また、備蓄倉庫や研修室、消防団の車庫なども配備されており、地域の防災力向上が期待されます。

# Miyazaki Topics

宮崎市旬の話題 “みやとピ”



## キャンプマンズの締めくくりプロの迫力あるプレーを満喫

プロ野球春季キャンプの総仕上げは、日韓プロ野球6球団が練習試合形式で対戦する「球春みやざきベースボールゲームズ」。春めく陽気となったキャンプマンズ最後の週末は、市内の2球場に県内外から家族連れなど約1万7千人が来場。観客からは、試合中の迫力ある一つ一つのプレーに歓声が上がったり、ため息が漏れたりして大いに盛り上がりました。

## オリックスが初めて1・2軍合同でキャンプを行いました

昨年に引き続き、オリックス・バファローズが、2月1日から28日まで春季キャンプを行いました。清武総合運動公園には、第2野球場や10人が同時に投げることができるブルペンも完成。本県出身の福良淳一監督や西村徳文ヘッドコーチをはじめ、1・2軍合同の体制で行う初めてのキャンプに、多くのファンが声援を送りました。



↓昭和47年4月号が電子書籍で読める!



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りバーコードリーダー」を推奨しています。

### 今回の旅行先 昭和47年

### 宮崎神宮のオオシラフジ

今回発掘するのは、昭和47年4月号の「天然記念物 宮崎神宮のオオシラフジ」です。同じ品種としては国内最大の樹木であり、昭和26年に国の天然記念物に指定。4月中旬頃にゆらゆらと真っ白で大きな花を咲かせ、美しい花とその香りで人々を楽しませていました。戦後から昭和52年までは藤まつりも行われ、大変にぎわいました。



### 昭和50年

見事に咲き誇るオオシラフジを見ようと、たくさんの方でにぎわいました。



### 昭和32年

藤の開花に合わせて開催されていた藤まつりでは、曲芸大会、藤娘踊披露などさまざまな催し物も行われていました。



### 昭和28年

華やかな藤娘の藤かご道中の様子。二日間で藤まつりに訪れた人は約5万人。神武大祭と並ぶほどの人気でした。

## 藤まつりの思い出

宮崎神宮の近くにお住まいで当時の藤まつりをよく知る重永隆さんの話や、写真を交えて振り返ります。

今も毎年美しい花を咲かせます。皆さんもぜひ、ご覧ください。

しげなが たかし  
重永 隆さん  
(86歳)



## 地名むかしむかし 2015 ① 「あおき(檜)」

昭和35年4月号から1年間連載されていた「地名むかしむかし」。市内のいろいろな地名の由来を当時の文章のままお届けします。

昭和36年3月号より



一ツ葉稲荷神社。白砂青松の間にまつられ、一ツ葉の景勝とともに名高い神社です。

「前略」明治二十二年に町村制がおこなわれたとき山崎、江田、新別府、吉村の四村を合併して檜村をおいたが、そのときなぜこんな名をつけたかという、その時の郡役所では「古くよりこの地方を檜原とよんでいるからだ」とせつめいしている。「中略」この地方を古くから「あはき原」というのは、イザナギノミコトがミノギハライをされたところと伝えられていたからで古事記には筑紫日向之橋小門之阿波岐原とあり日本書紀には檜原の字を書いている。すなわちここがその伝説地である。「中略」またこの神話は海人族のしゅうかんをあらわすといわれるから「あはき」の「あは」は水の泡からきたことばかもしれない。